

待など支援が届きにくいケースにどう対応するか。

子ども政策部長 関係部署、機関と連携し、切れ目なく誰一人取り残さない支援に努めていく。

議員 脱炭素社会の実現に向け、市民が具体的に実施できる取り組みの拡充について、所見を伺う。

生活環境部長 市民、事業者等による環境活動推進会議を契機とした講座やイベント等を推進していく。

議員 寄贈物件等を活用した魅力あるまちづくり研究会の検討を経て、当該寄贈物件が芸術分野のクリエイターの生活・活動拠点として活用される。地域連携に係る検討内容を伺う。

DX推進担当部長 本年度にプレイベントを実施し、施設の認知度を高め地域のつながりの輪を広げたい。

〈その他の質問〉 災害時避難行動要支援者の個別避難計画作成についてなど

より良いサービス提供に向けて
執行状況の検証を
つなぐ三鷹の会
成田ちひろ 幹事長



議員 子ども・子育て支援事業計画改定の基礎資料となるニーズ調査と子どもの生活実態調査の回収率が、前回の平成30年度より低くなったのはなぜか。

子ども政策部長 調査期間中に学校において感染症が流行し、学級閉鎖や調査実施日に欠席した子どもが多かったことが一因だ。

〈その他の質問〉 予備費の充当状況についてなど

市内連携、市民協働体制を整え
円滑な事業の推進を
都民ファーストの会
山田さとみ 幹事長



議員 地域子どもクラブ事業など、市の複数部門が関わる事業を市民と協働で行う際、市民から窓口などが分かりにくいとの声を聞く。工夫と改善策を伺う。

教育長 一元的な調整と丁寧な説明が必要であり、組織横断的な視点を持って適切に連携していく。

議員 猛暑の中でも安全に

一般質問

8月30日、9月2日、3日の本会議で、22人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

自民クラブ
太田みつこ 議員



地域連携を強化した子育て支援を

子ども地域の居場所のニーズ等を踏まえ、国補助活用も検討している

議員 子ども、子育て世帯の立ち上げ、継続の支援などが地域との関わりを深めることは、地域の未来を担う人材育成と持続可能な地域社会の実現につながる。地域開放を推進している保育園や幼稚園の現場の声をどのように生かしているか。

市長 いただいた要望等について具体的に協議し支援策の参考としている。

議員 国の地域こどもの生活支援強化事業は、ひとり親家庭や低所得世帯の子ども等を対象に、子ども食堂などの食事の支援や居場所なども行っている。

子ども政策部長 要綱等を確認し活用について検討中だ。財源確保の点も含め適切に判断したい。

議員 中高生世代の居場所確保と地域参加の取り組みを伺う。

子ども政策部長 多世代交流センターのユースタイムを週2回に拡充した。地域の協力による軽食の提供なども行っている。

自民クラブ
吉田まさとし 議員



スマートシティ施策を推進せよ

AIの技術進歩を見据えつつ、課題を検証し効率的な活用を検討する

議員 質の高い暮らしの実現や市民一人一人の生活に寄り添ったサービスの提供に向けたデジタル技術の活用を加速するため、スマートシティ三鷹構想2027の策定が予定されている。デジタルを活用した若者や

障がい者、外国人住民などの行政参加を促進する取り組みについて所見を伺う。

市長 市内DX推進員の検討会でオンラインによる市民参加プラットフォームの構築を議論している。

議員 データの利活用に当

たり、個人情報保護やサイバーセキュリティ対策にどう取り組んでいるか。

DX推進担当部長 システム利用時の顔認証や通信の暗号化、職員研修等を進めている。匿名加工情報の活用は、先行する都道府県等の動向を踏まえ検討する。

議員 AIやIoT技術など、最新テクノロジーの導入について所見を伺う。

市長 各部の事業においてAIを活用したアイデア出しや効果の検証を行い、業務の効率化を図っていく。

自民クラブ
吉野けんさく 議員



猛暑下の市民生活の質の向上に努めよ

子どもたちに好評なミストシャワーを今後も拡充する方向で検討したい

議員 この夏も連日、熱中症警戒アラートが発令され、午後の公園では遊ぶ子どももほとんどいなかった。公共施設へのミストシャワーの設置効果と今後の方向性について伺う。

市長 熱中症対策に有効であり拡充を検討したい。

議員 バス停の上屋は真夏の日差しを遮り、ゲリラ豪雨の雨宿りにも有効だ。歩道の広さ等の条件を満たし設置可能なバス停に上屋を設置することをバス事業者に働きかけてはどうか。

〈その他の質問〉 ふるさと納税について

議員 この夏も連日、熱中症警戒アラートが発令され、午後の公園では遊ぶ子どももほとんどいなかった。公共施設へのミストシャワーの設置効果と今後の方向性について伺う。

市長 熱中症対策に有効であり拡充を検討したい。

議員 バス停の上屋は真夏の日差しを遮り、ゲリラ豪雨の雨宿りにも有効だ。歩道の広さ等の条件を満たし設置可能なバス停に上屋を設置することをバス事業者に働きかけてはどうか。

〈その他の質問〉 ふるさと納税について

自民クラブ
池田 有也 議員



地域医療体制の安定的継続に取り組み

老朽化した病院の建て替え支援等に
先手を打って取り組んでいく

議員 医療機関の施設老朽化が各地で課題となっており、災害拠点連携病院に指定されている近隣市の病院が閉鎖の危機にある。本市の地域医療体制の確保に向けた対応について伺う。

市長 令和6年8月にとり

まとめた市内病院機能の維持に向けた支援に関する方針に基づき、病院機能の維持、拡充や建て替え等の支援の検討を進める。

議員 西部地域の悲願である井口特設グラウンドへの病院誘致の早期実現に向け

た今後の予定を伺う。

市長 優先交渉権者となる医療事業者を7月に選定した。今後、覚書を締結し具体的協議を進める予定だ。

議員 市民の健康増進のためスポーツ環境の確保も重要だ。同グラウンド北側に整備工事を進めている新グラウンドが来年の夏オープンする際の市民へのPRについて所見を伺う。

市長 広報等とともに、小学生の野球やサッカー教室などオープンセレモニーの開催等も考えていきたい。



地域医療を支える市内病院の所在地

公明党
佐々木かずよ 議員



認知症を支え合える共生社会の実現を

ユマニチュアの普及と家族介護者支援について引き続き検討していく

議員 難聴の高齢者の間こえの補助は認知症予防の観点からも重要だ。補聴器より安価で使いやすい軟骨伝導イヤホンを市役所窓口

に設置すれば、窓口でのスムーズな対応と市民への周知に有効ではないか。

第二副市長 まず福祉部門の窓口から試行的に設置することを検討したい。

議員 認知症の夫と外出中の妻が男性トイレに付き添う際などに周囲に理解してもらえよう「介護マーカー」を配布してはどうか。

健康福祉部調整担当部長 福祉Laboどんぐり山と社会福祉協議会の共催で家族介護者交流事業としてユマニチュア講座を実施することとしている。

公明党
大倉あき子 議員



引きこもり等の若者に寄り添う支援を

若者を取り巻く現状に鑑み
多角的、重層的支援に取り組む

議員 人間関係の希薄化や長引く経済の低迷等の中、